

校 訓	
質実剛健	自律調和

本校の教育目標
<ul style="list-style-type: none"> ○自他の命を大切に、高い志と思いやりの心を持つ、心身共に健やかな人間を育成する。 ○自ら学び自ら考え行動し、社会を生き抜く人間を育成する。 ○様々な体験活動を通じ、人との交流の大切さを実感させ、倫理観、規範意識を育成する。 ○勤労と責任を重んじ、地域社会の発展に寄与する人間を育成する。

生徒の実態, 教師の願い
<ul style="list-style-type: none"> ・素直で明るい生徒が多く、7割以上の生徒が就職します。 ・社会人として必要な生活習慣の確立を目指しそのために基礎学力を向上して欲しい。

保護者や地域の願い
<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな人間性を持ち社会に貢献して欲しい。 ・地域産業の担い手となって欲しい。

「志教育」の目標
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の『夢』を『志』に醸成し、その『実現』を図る。 ・専門教科の魅力ある実験・実習を通して専門力を身につけさせ、農業理解者の育成を図る。 ・個人の人格と個性を尊重し、協調性を養うとともに社会人としての規範を身につけさせる。

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣とモラルを身につける。 ・自己理解とともに他者の価値観や個性を理解し認めることができる。 ・場に応じた適切なコミュニケーションができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよく生きるために、自己の特長を活かし活躍できる、より現実的な進路を考える。 ・進路目標達成のために、学習や実習、体験活動に全力で取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や社会において自分の果たすべき役割を自覚し、責任を果たすことができる。 ・社会性を身につけ、社会人として意欲的に農業に関係する産業技術者や農業理解者を育成する。

各教育活動における取組の観点	
各教科	<ul style="list-style-type: none"> ・「専門力」の向上。 ・高校生としての常識を身につける。 ・学校設定科目「ベーシック」で基礎学力の向上を図る。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の心を思いやり愛情を持ち他者と関わるのできる人間性を育成する。 ・自己探求と自己実現に努め、専門高校の持つ教育要素を活かし、郷土を愛し豊かな心を持って、人間としての在り方生き方を自覚するような道徳性を育成する。
総合的な探究	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の解決を図る学習を通して、社会的な意義や役割について理解し、実践的な態度を育てる。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら設定した目標を達成しようとする心を養う。 ・進んで発表しようとする積極性を育てる。 ・規律を守ることや協力することの大切さを学ばせる。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の諸活動（農業クラブ、生徒会、部活動）に積極的に取り組み、活気と品位のある学校生活の実現を図る。

各学年の取組内容	
1年	
2年	
3年	<ol style="list-style-type: none"> ①進路オリエンテーション ②就職希望者個人面談 ③進路ガイダンス(面接・履歴書指導) ④進路のしおり講座(一般常識・面接対策) ⑤保護者・生徒に対する進路説明会、三者面談 ⑥就職達成セミナー(フォローアップ講座) ⑦保護者・教員による模擬面接 ⑧就職合同面接会への参加 ⑨先輩の話を聞く会 ⑩社会人準備セミナー

家庭との連携
PTA活動や学校評価、公開授業などの機会を通じて、情報収集・意見交換を図り、将来社会に貢献できる職業人の人材育成に努める。

地域・企業との協働
各プロジェクト学習の推進、商品開発、ボランティア活動や外部の団体の交流活動から、望ましい職業観・勤労観の育成を図る。

令和6年度 宮城県柴田農林高等学校 「志教育」年間指導計画

3つの視点		かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす					
各教科指導目標	国語	○	○	○	地理歴史	○	○	○	公民	○	○	○	○	数学	○	○	○				
	言語と、自国の文化に対する理解を深め、自らの行動指針を決める思考力と判断力、他者を思いやる想像力を伸ばすための言語能力を養う。				日本及び世界各国の風土や文化、歴史を理解することで、国際社会における自らの役割を考え、地理的・歴史的背景から積極的に参画する意識を養う。				現代の日本を形作る政治・経済を学ぶことで、現代日本を形作る主権者としての意識を養う。				数学的な見方や考え方に触れることで、日常の様々な問題を解決するための考え方を身につける。				科学的な見方や考え方を養い、様々な事象について科学的に正しい情報を判断する力を身につける。				
	保健体育	○	○	○	芸術	○	○	○	外国語	○	○	○	○	家庭	○	○	○	情報	○	○	○
	心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって健康の保持増進を図り、明るく豊かで活力ある生活を育む態度を育てる。				美術の基本的な幅広い作品制作を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、豊かな情操を養う。				外国語を学ぶことによって、外国への興味、関心を高める。また主体的、自律的に他者とのコミュニケーションを図ることができる能力、態度を育成する。				生活の営みに係る実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と共によりよい社会の構築に向けて、主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育てる。				情報化が社会に及ぼす影響を理解させるとともに、情報技術を適切に活用する能力を養い、社会の情報化に対応できる態度を育てる。				
	農業	○	○	○																	
農業の各分野に対する基礎・基本な知識と技術を習得させるとともに、これからの農業における課題を解決できる能力と態度を育てる。																					
学年共通								各学年指導目標													
指導内容	①あいさつをしよう				◎	○	○	1年	(1-①)時間厳守・締切厳守の意識を持たせる(欠席・遅刻・早退を最小限に。未履修「0ゼロ」)。 (1-②)あいさつ・礼儀・言葉遣い・身なりを正しくさせる(進路実現できる身だしなみを)。 (2)進路活動に必要な学力や学習習慣を身に付けさせる(欠点を最小限に。未修得「0ゼロ」)。 (3)生徒の特性やニーズに応じた進路の実現を目指す(進路達成「1ワンダフル(100%)」)。												
	②時間を守ろう				○	○	◎														
	③制服を正しく着用しよう				○	○	◎	2年													
	④授業の準備をしよう				○	○	◎														
	⑤ノートを書こう				○	○	◎	3年													
	⑥スキルアップ学習の徹底				○	○	◎														
指導内容				ねらい				指導教科等		実施時期	時数	かかわる	もどめる	はたす							
3年	キャリアパスポート				学校生活を通して見通しを持ち、振り返るとともに将来への展望を図るものとする。				特別活動	4, 9, 2月	3	○	○	○							
	スキルアップ学習				基本的な学習の確認や求人票、パンフレットから情報を得て今後の参考にする。				特別活動	4, 6月	2	○	○	○							
	オープンキャンパス及び企業見学				希望進路先を訪問し、最終進路決定の参考にする。				特別活動	7月	3	◎	○	○							
	フォローアップセミナー				卒業後の進路先で、より良いスタートがきれるようにマナー講習等を受け卒業後の参考とする。				特別活動	12月	2	○	◎	○							
										合計時数	10										

志教育の視点	□かかわる ・ □もとめる ・ □はたす
--------	----------------------

活動名	食をとおして、広がる世界観
教科・領域等	教科 農業 「果樹」「総合実習」「課題研究」
活動学年等	食農科学科 果樹専攻 2, 3年
ねらい	果樹生産管理を通して、生産するだけでなく、地域との関わりの中で、広い視野を持ち、今の自分自身で考えられることをより深くし、発信できるようにする。

【実践内容】

本校は、数年前から利府町や大河原町、蔵王町の学校給食に、本校果樹園で栽培しているリンゴを食材として提供している。ただ生産するのではなく、常に食べていただく方々のことを想うかべ、より良い果樹栽培に取り組んでいる。

食材のリンゴを提供する際は、納入するだけではなく、リンゴの効用を伝えたり、想いをビデオメッセージで伝えたりしてきました。昨年は、地元の白石温麺の企業の方から、白石温麺をより知って欲しいとのことから、白石温麺についての講義も受けました。地元企業が教えていただいた地元の良さ、食文化の深さをこのかわりから発見することができました。

そして、今後、高校生の視点で白石温麺の活用を考え、独自に柴農弁当作りの中に白石温麺を取り入れられないかを実践している途中です。また、食について学ぶ中で、SDGsも考えるようになりもなりました。

食を通して、食品ロスの減少、差別や飢餓をなくしたい、安全な水とトイレを世界中に、ゴミ分別で漁業資源を守る等、各自が思い思いの発想を持つようになり、その想いを新聞に掲載していただきました。スタートは果樹生産ですが、各自の役割はもっともっと広くなり発信することで、今はたすこと、これからはたすことに取り組んでいく。



(地元 蔵王町の梨農家で勉強会)



(学校給食用へのメッセージ)



(白石温麺の勉強会)



(柴農弁当の作成中)

飢餓の現実知り食糧支援

齋藤 駿平 16歳

(岩沼市・柴田農林高2年)

持続可能な開発目標(SDGs)が掲げる17の目標のうち「飢餓をゼロに」は、

飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成し、持続可能な農業を推進する活動です。

飢餓をゼロにするためには、食べ残しをしないということが重要です。私は中

学の時から、給食や家庭、

お店などで出されたものや、自分で注文した料理は必ず残さず食べています。

また、世界の飢餓をなくすために支援を行っていきます。例えば、紛争や自然災害などの緊急時に食料を届ける、学校給食プログラム、母子栄養支援などです。

学校給食プログラムとは、途上国の学校で栄養補

の高い給食を提供するというもので、子どもたちの健全な発育を助け、就学率、出席率の向上を目指します。母子栄養支援とは、子どもたちの健全な発育を助

けるため、乳幼児や妊婦、授乳中の女性などに栄養改善のための食料を届ける支援です。これからも、

世界の現状を知り、少しでも支援ができるような取り組みをしていきたいです。

温麺に夏野菜 食欲アップ

小野 心愛 16歳

(宮城県大河原町・柴田農林高2年)

私の家では、白石温麺をそうめんとして食べています。白石温麺は冬場に食べ

る人が多いかもしれませんが、夏に食べられるように、トマトやキュウリ、ナスなどの夏野菜をトッピングす

ることが多いです。暑さで食欲がなくなってしまうがちですが、このメニューは

あつさりしていて、この時期にぴったりです。

そうめん以外にお薦めしたいのは蜂蜜レモンです。蜂蜜レモンは夏バテや疲労回復に効果があり、夏のエネルギーチャージにぴった

りです。しかも、作り方は簡単で、レモンを薄切りにし、蜂蜜を加え、冷蔵庫で一晩寝かせるだけです。暑い夏、家に蜂蜜レモンをストックしておくのもいいかもしれませんね。

このように、手軽においしい暑さを乗り切ることが

できます。皆さんも身近なところから暑さ対策をしてみたいかがでしょう。

ごみ分別 漁業資源守ろう

松川 心美 17歳

(角田市・柴田農林高2年)

私は、17ある持続可能な開発目標(SDGs)のうち、「海の豊かさを守ろう」

について、考えてみました。人類は地球の面積の7割を占める海から、生きるための食べ物も多く受け取っています。そんな海が深

刻な問題を抱えています。

例えば、少しでも多く魚を取ろうとするあまり違法な漁が増え、取り過ぎてしま

まうことで、多くの漁業資源が減ってしまっています。また、生活排水によって海が汚されています。他にも、海中に捨てられたプラスチック製品を、魚

などがえさと勘違いして食べてしまい、それが原因で死んでしまうなど、さまざま問題が海は抱え込んで

います。

そうした問題を少しでも解決できるように、何かできることはないかと考えました。例えば、ごみは分別する。魚は必要な分を見極めて取ることが重要だと思

食品ロスもつと減らせる

加納仔憂希 16歳

(宮城県柴田町・柴田農林高2年)

国連の持続可能な開発目標(SDGs)について、

考えてみました。17の目標の中に「つくる責任 つかう責任」という目標があります。現在の日本での2020年度の推計では、食品ロスの量は、520万ト。このうち事業系

食品ロス量は275万ト、家庭系食品ロス量は247

万トとなっています。推計開始以来最少となりました。21年度の食品ロス世界ランキングは14位です。

家庭における食品ロスで多いのが野菜です。実際、自分の家でも野菜を買った

るのですが、食べる時期を逃して、野菜がいたんでしまい、捨ててしまうこともよくあります。

メニューを決めないで買い物に行き、その場で考えて必要ない物を買ってしまうことがあります。あらかじめメニューを決めてい

れば、余計な物を買わず、食品ロスも減ると思います。一人一人が気を付けていけば、もつと減らせるはず